

# 令和2年度 中津川市 介護に関するアンケート調査報告書概要

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

「中津川市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、今後の保健福祉行政に役立てるために、市民の皆様の普段の生活や健康などに関して調査を実施するものです。

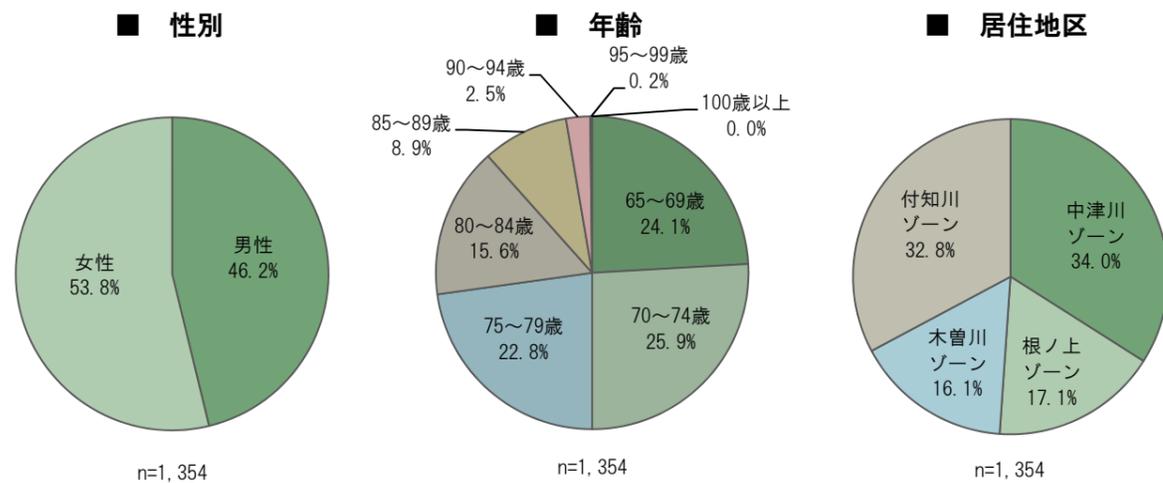
### (2) 調査対象・回収等

	介護予防・日常生活支援ニーズ調査	在宅介護実態調査	サービス未利用者実態調査	若年者実態調査	施設サービス利用者実態調査	ケアマネジャー実態調査
調査対象	中津川市に居住する介護認定を受けていない65歳以上の一般高齢者	介護認定の更新・変更申請をおこなった在宅の要介護認定者及びその介護者	中津川市に居住する介護サービス未利用者	中津川市に居住する40～64歳までの2号被保険者	中津川市に居住する施設サービス利用者	中津川市内事業所のケアマネジャー
調査方法	対象者へ郵送にて調査	郵送または調査員による直接聞き取りにて調査	対象者へ郵送にて調査		対象者へ施設より配布にて調査	対象者へ直接配布にて調査
調査期間	令和元年12月10日～12月23日	令和元年9月1日～令和2年1月31日	令和元年12月10日～12月23日			
配布数(A)	2,000通	郵送：436通 調査員：305通 計741通	300通	1,000通	200通	134通
回収数(B)	1,354通	536通	172通	480通	169通	125通
回収率(B/A)	67.7%	72.3%	57.3%	48.0%	84.5%	93.4%

## 2 調査結果

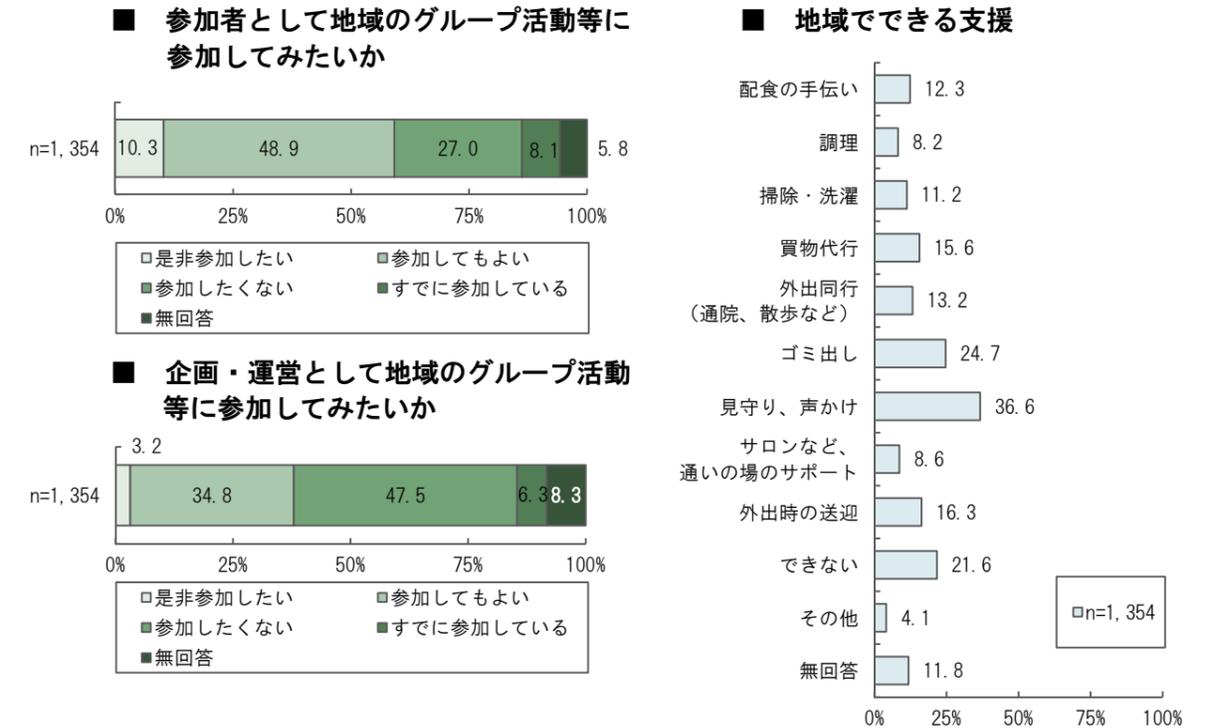
### (1) 介護予防・日常生活支援ニーズ調査

#### ① 調査対象者の属性



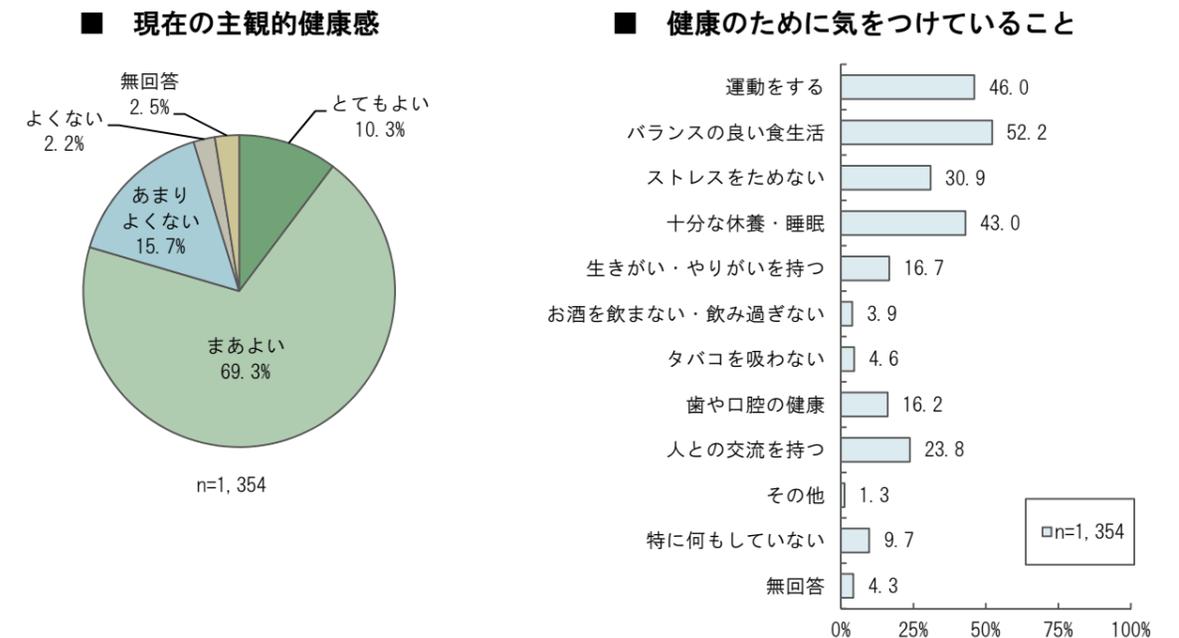
## ② 地域活動等について

- 参加者として地域のグループ活動等に参加意向のある方は約6割（「是非参加したい」＋「参加してもよい」）。
- 企画・運営として地域のグループ活動等に参加意向のある方は約4割（「是非参加したい」＋「参加してもよい」）。
- 地域でできる支援をみると、「見守り、声かけ」、「ゴミ出し」が高い。



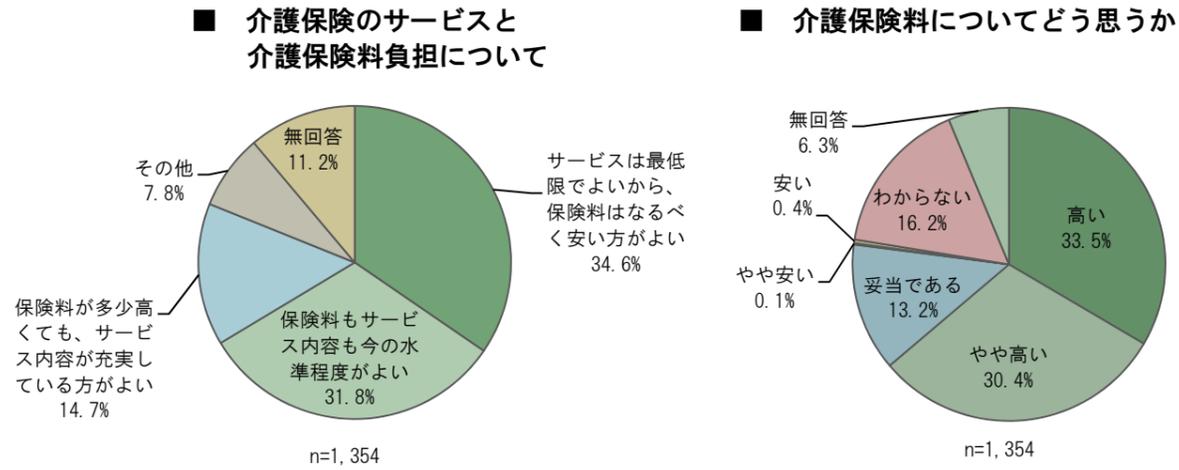
## ③ 健康について

- 現在の主観的健康感は、約8割がよいと感じている（「とてもよい」＋「まあよい」）。
- 健康のために気をつけていることでは、「バランスの良い食生活」、「運動をする」、「十分な休養・睡眠」が高い。



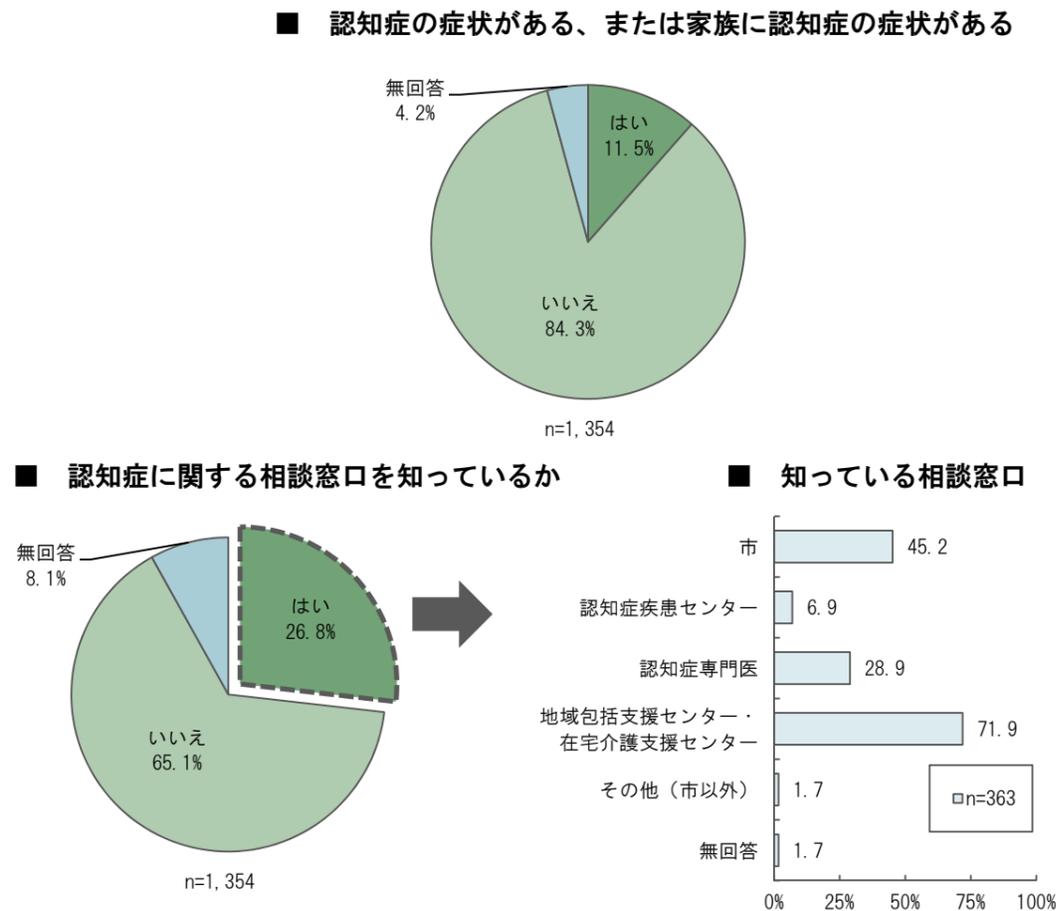
#### ④ 介護保険について

○介護保険のサービスと介護保険料負担について、「サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安い方がよい」が最も高い。  
 ○介護保険料については、約6割が高いと回答している（「高い」+「やや高い」）。



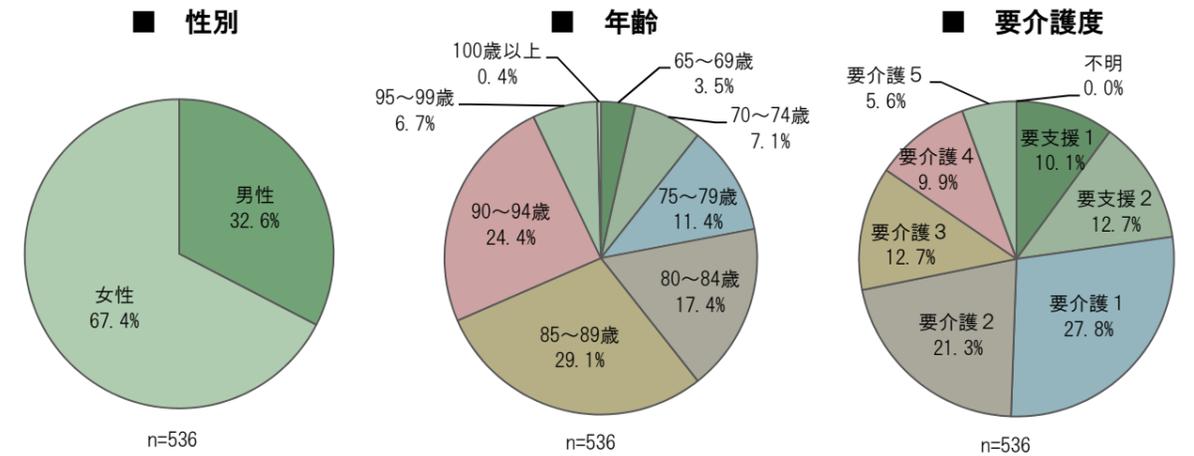
#### ⑤ 認知症について

○認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある方は1割強。  
 ○認知症に関する相談窓口を知っている方は3割弱程度おり、知っている相談窓口では、「地域包括支援センター・在宅介護支援センター」が最も高い。



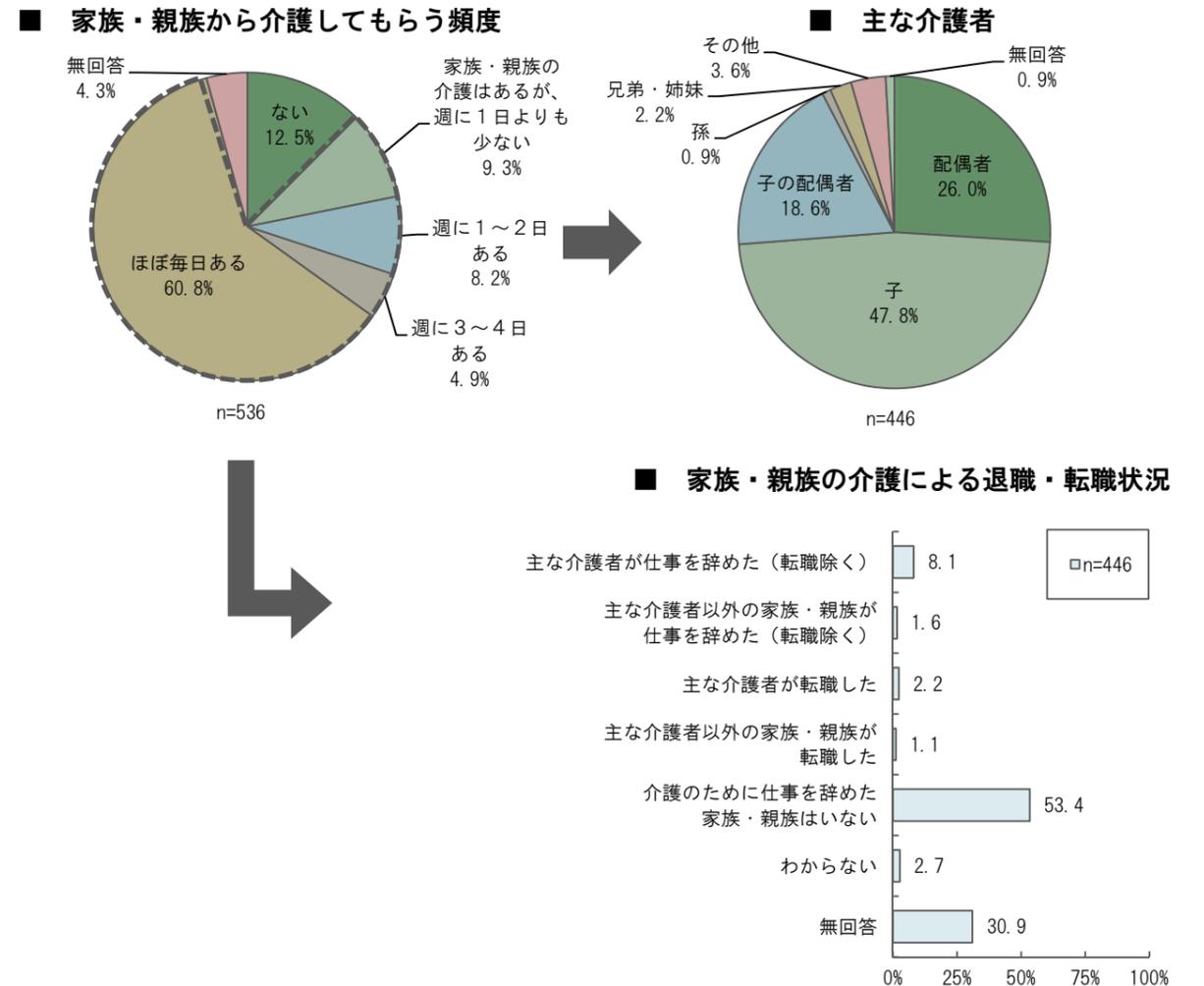
#### (2) 在宅介護実態調査

##### ① 調査対象者の属性



##### ② 介護の状況について

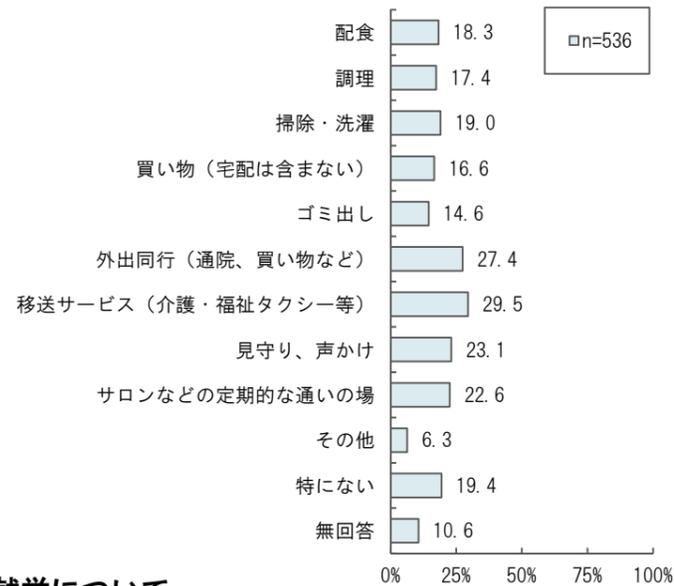
○家族・親族から介護してもらっている方は約8割いる状況。  
 ○その中で主な介護者は「子」が約半数を占めている。  
 ○家族・親族の介護による退職・転職状況では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も高い。



### ③ 在宅生活での支援・サービスについて

○在宅生活を今後も続けていくために、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」といった支援・サービスを望む声が多い。

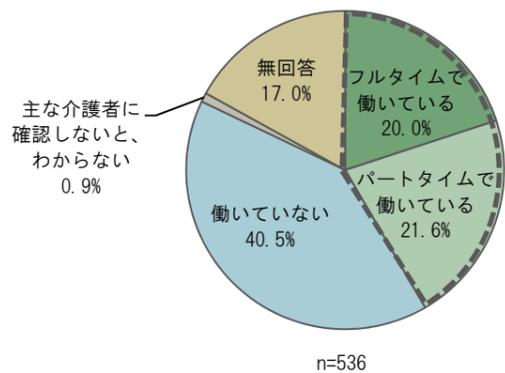
■ 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス



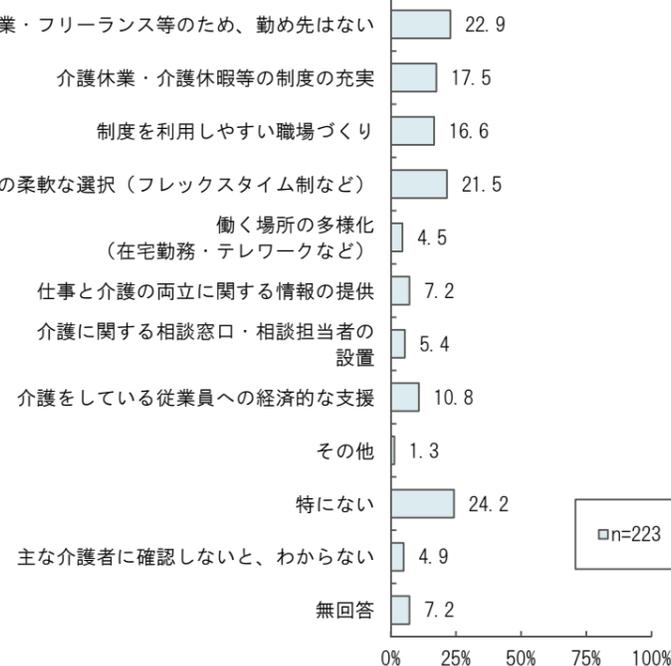
### ④ 介護と就労について

○主な介護者の約4割は何らかの形態で就労している。  
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援では、「特になし」や「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」といった回答が高いが、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」でも割合は高い。

■ 主な介護者の勤務形態

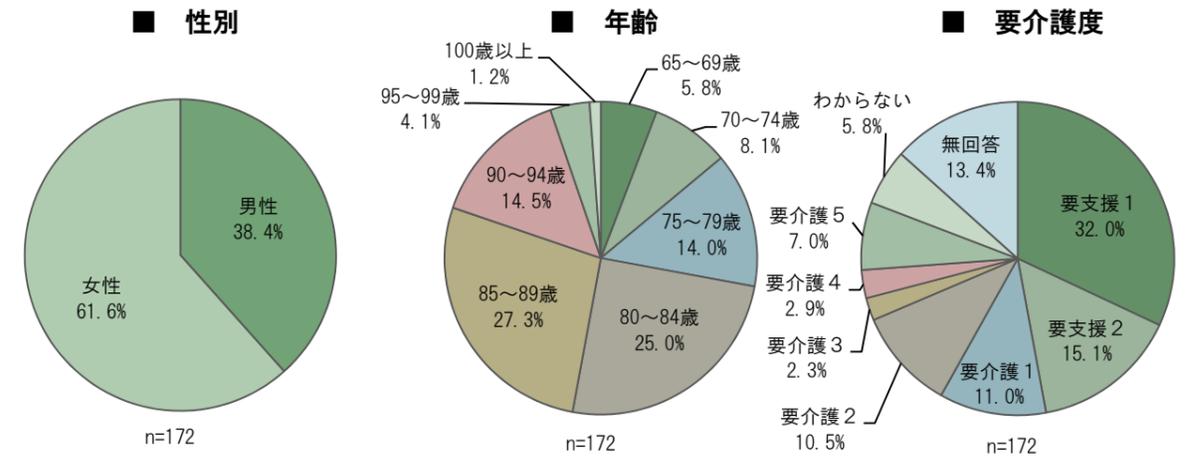


■ 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



### (3) サービス未利用者実態調査

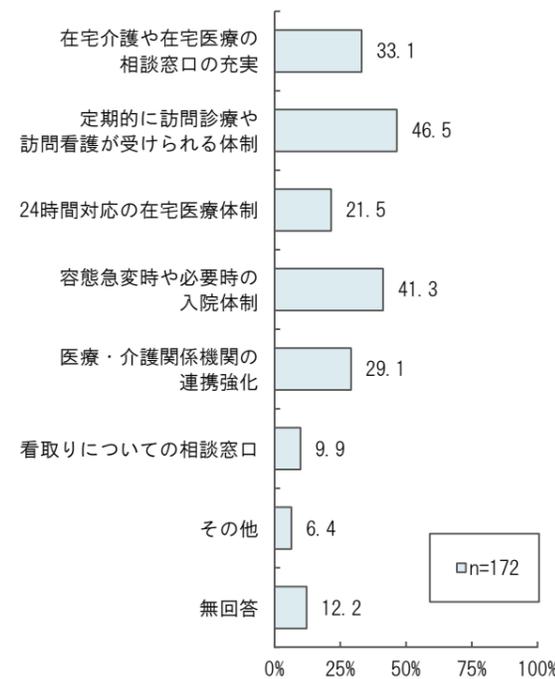
#### ① 調査対象者の属性



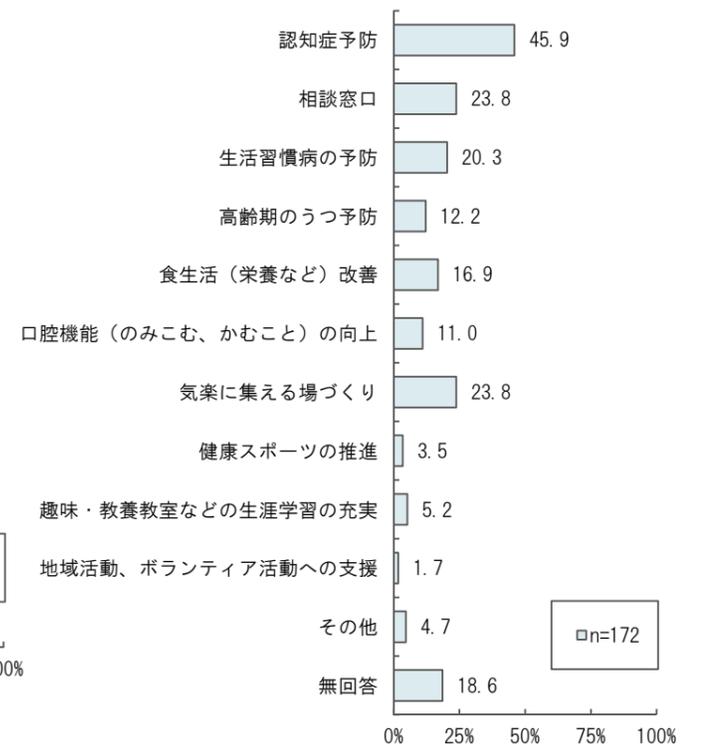
#### ② 今後について

○在宅医療や在宅介護の課題として整備が必要だと思うことは、「定期的に訪問診療や訪問看護が受けられる体制」、「容態急変時や必要時の入院体制」で高い。  
○今後、充実してほしい健康づくりや介護（認知症）予防施策をみると、「認知症予防」が最も高い。

■ 在宅医療や在宅介護の課題として整備が必要だと思うこと



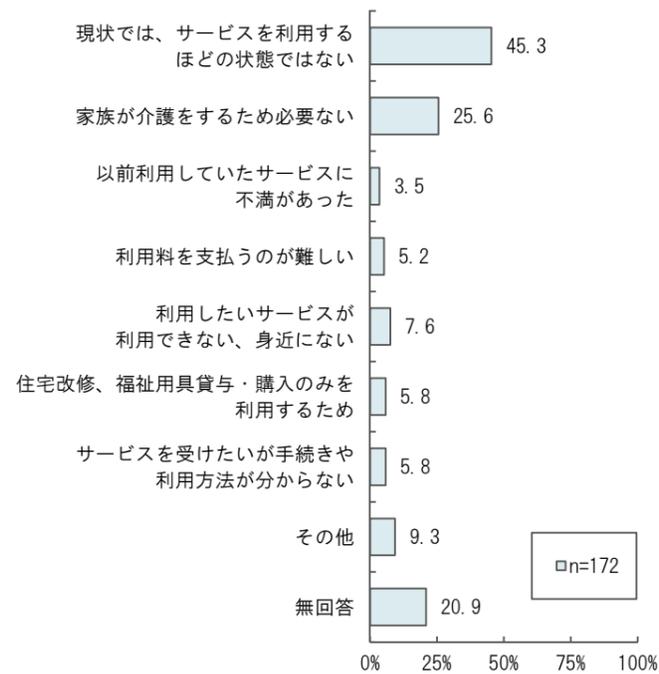
■ 今後、充実してほしい健康づくりや介護（認知症）予防施策



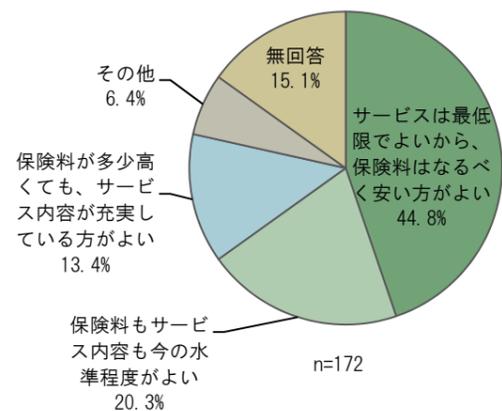
### ③ 介護保険サービスについて

- 介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が高い。
- 介護保険のサービスと介護保険料負担について、「サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安い方がよい」が5割弱。
- 介護保険料については、約6割が高いと回答している（「高い」+「やや高い」）。

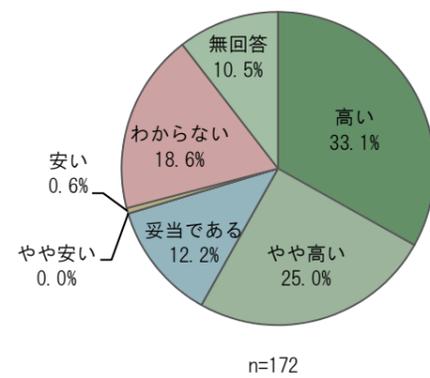
■ 介護保険サービスを利用していない理由



■ 介護保険のサービスと介護保険料負担について

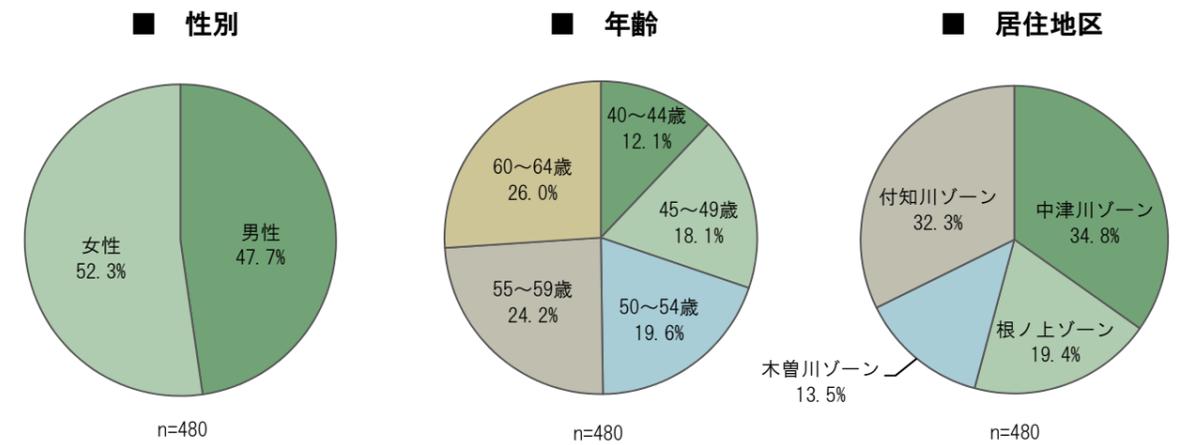


■ 介護保険料についてどう思うか



### (4) 若年者実態調査

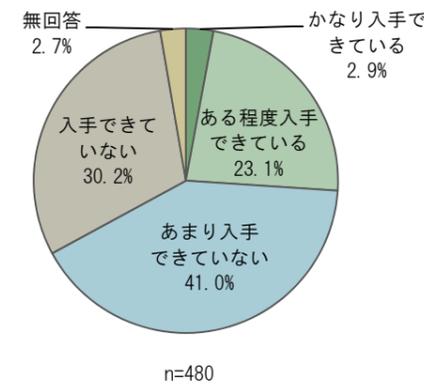
#### ① 調査対象者の属性



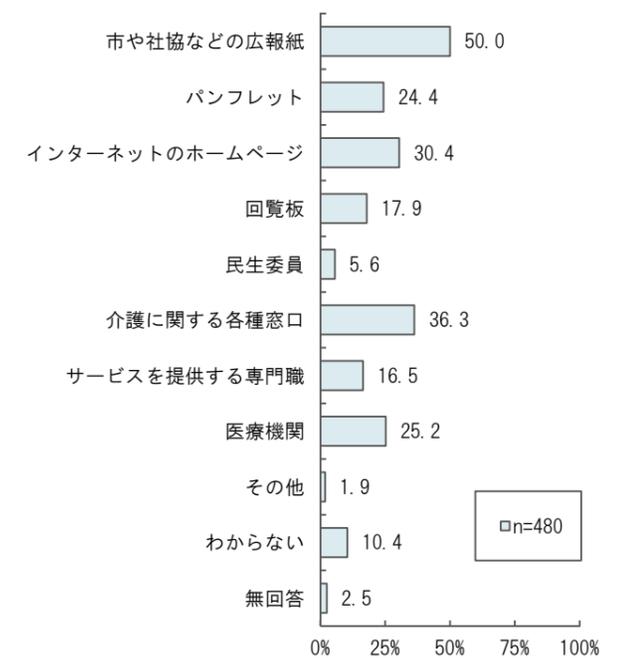
#### ② 介護保険に関する情報提供について

- 介護保険に関する情報は、入手できている方が3割弱（「かなり入手できている」+「ある程度入手できている」）、一方で入手できていない方が7割強（「あまり入手できていない」+「入手できていない」）。
- 介護保険に関する情報は、「市や社協などの広報紙」、「介護に関する各種窓口」、「インターネットのホームページ」を通じて提供すべきという声が多い。

■ 介護保険に関する情報はどの程度入手できているか



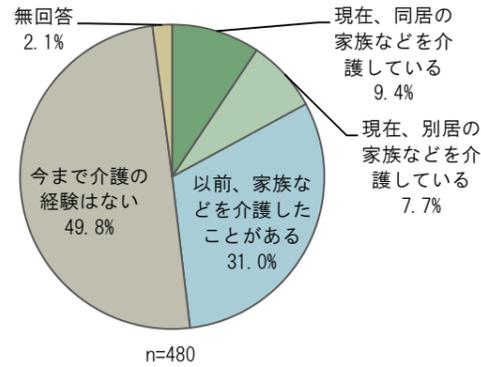
■ 介護保険に関する情報は、どのような媒体を通じて提供すべきか



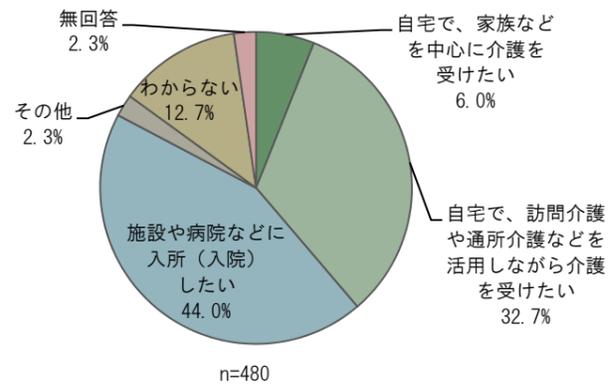
### ③ 介護について

- 家族などを介護した経験はない方が約半数を占めている。
- 自分自身に介護が必要になった場合、自宅で介護を受けたい方は約4割（「自宅で、家族などを中心に介護を受けたい」+「自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら介護を受けたい」）。
- 家族に介護が必要になった場合、自宅で介護をしたい方は約5割（「自宅で、家族などを中心に介護をしたい」+「自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら介護をしたい」）。
- 介護保険のサービスと介護保険料負担について、「保険料もサービス内容も今の水準程度がよい」が約半数を占めている。
- 介護保険料については、5割弱が高いと回答している（「高い」+「やや高い」）。

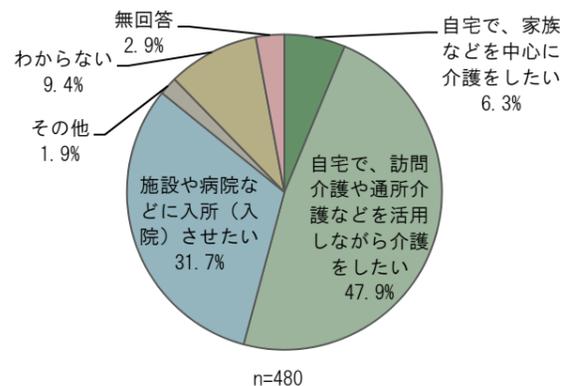
■ 家族などを介護した経験



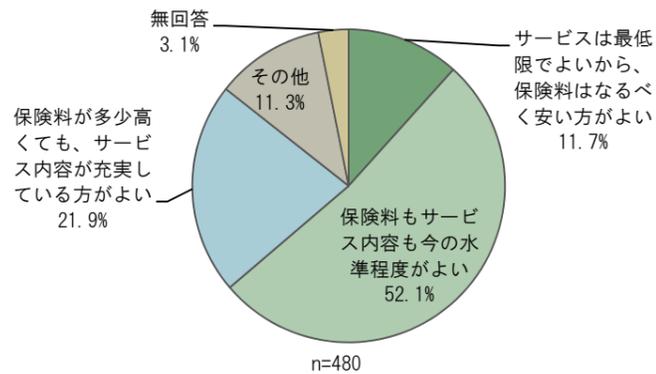
■ 今後あなた自身に介護が必要になった場合、どのようにしたいか



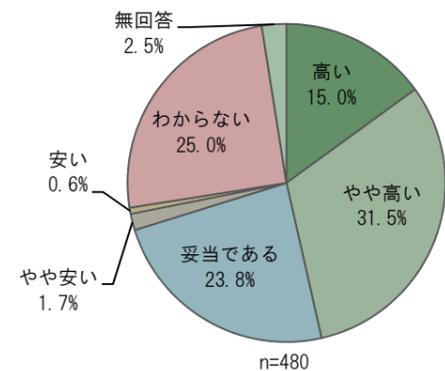
■ 今後あなたの家族に介護が必要になった場合、どのようにしたいか



■ 介護保険のサービスと介護保険料負担について

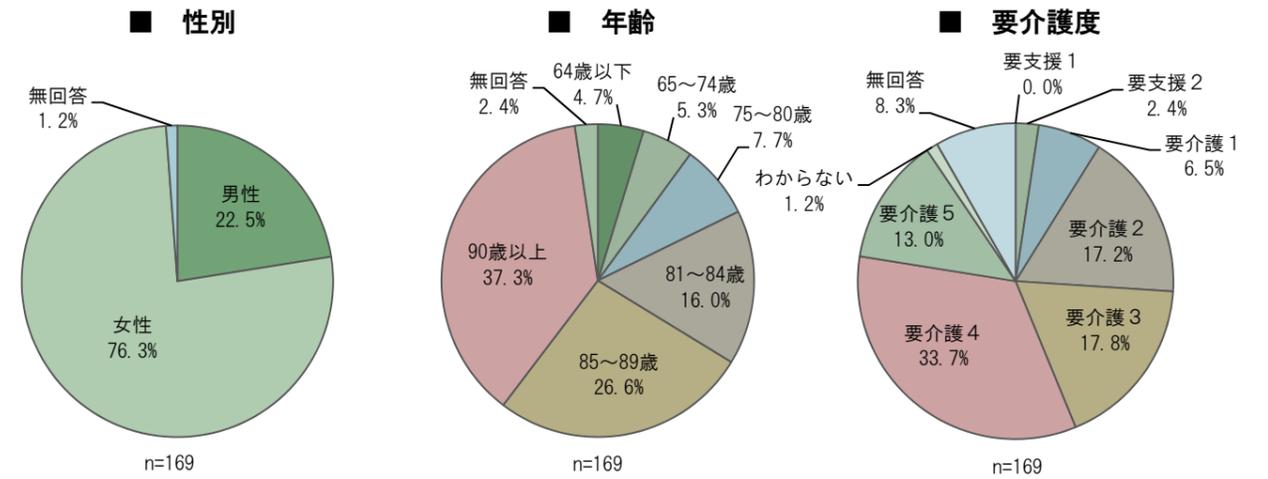


■ 介護保険料についてどう思うか



### (5) 施設サービス利用者実態調査

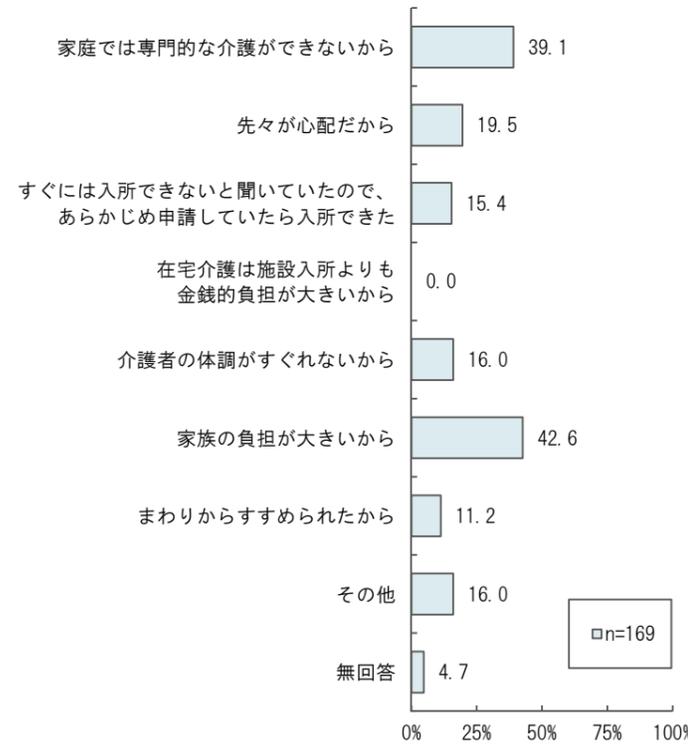
#### ① 調査対象者の属性



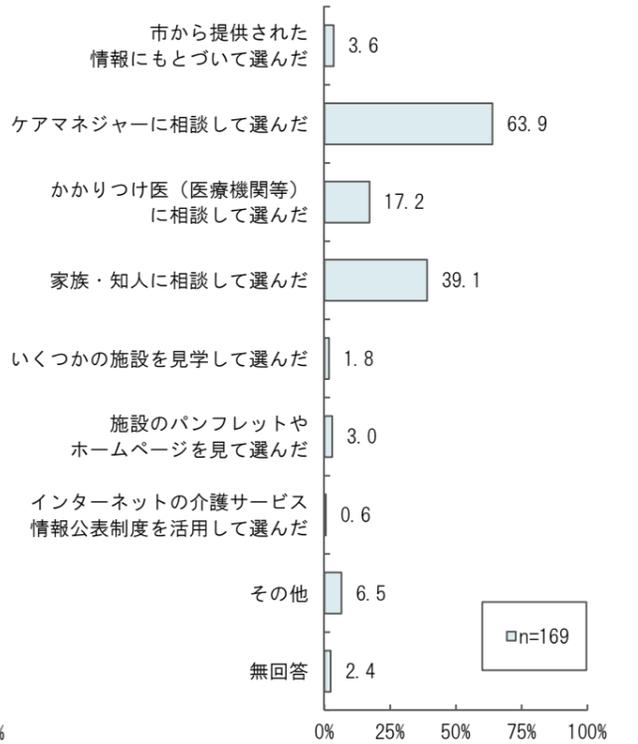
#### ② 施設利用について

- 施設を利用した理由は、「家族の負担が大きいため」、「家庭では専門的な介護ができないから」で高い。
- 施設を選ぶ時に相談した相手や機関について、「ケアマネジャーに相談して選んだ」、「家族・知人に相談して選んだ」で高い。

■ 施設を利用した理由



■ 現在、入所（院）している施設を選ぶ時に、誰に相談したか

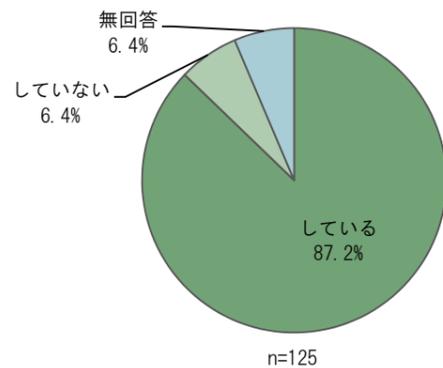


## (6) ケアマネジャー実態調査

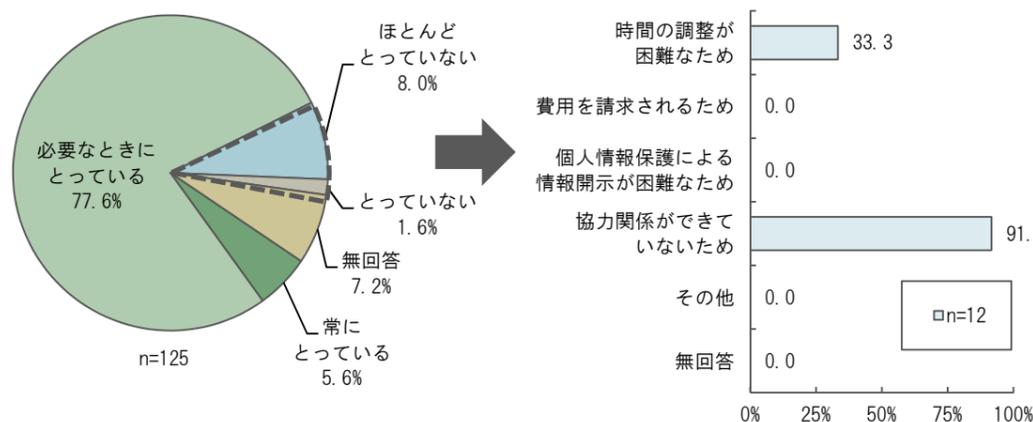
### ① 地域包括支援センターや医療との連携について

- 地域包括支援センターと連携している方は約9割を占めている。
- 主治医との連携について、とっていない方は約1割（「ほとんどとっていない」+「とっていない」）。
- 主治医と連携をとっていない理由として、「協力関係ができていないため」、「時間の調整が困難なため」となっている。
- 地域包括ケアシステムに取り組むために重要だと思うことは、「家族や近隣住人による高齢者の生活支援」が最も高い。

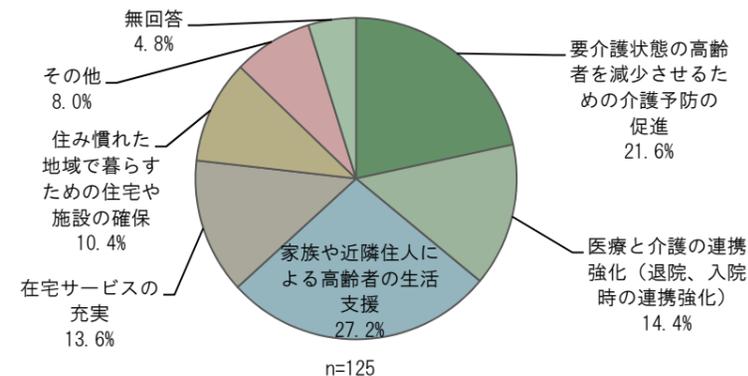
#### ■ 地域包括支援センターと連携しているか



#### ■ 利用者の病状やケアプランの内容について 主治医と連携をとっていない理由 主治医と連携をとっているか

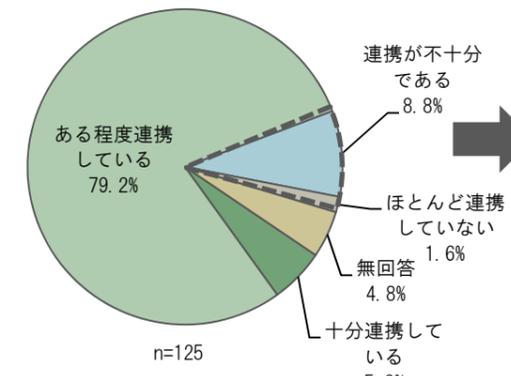


#### ■ 「地域包括ケアシステム」に取り組むために重要だと思うこと

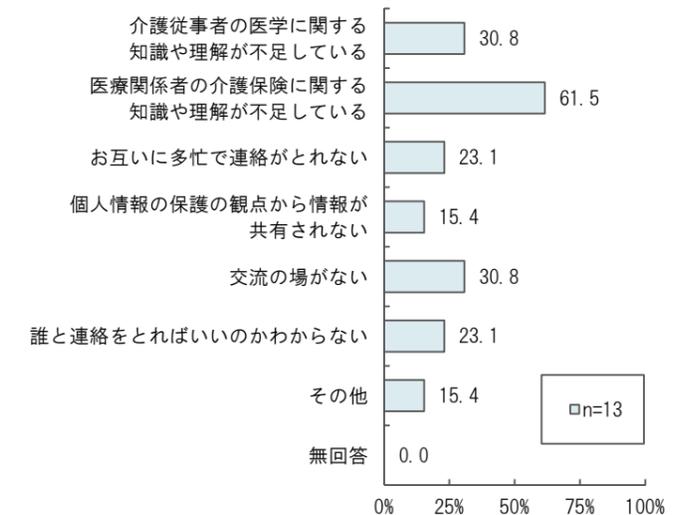


- 在宅医療者への支援での医療・介護との連携について、連携できていない方は約1割（「連携が不十分である」+「ほとんど連携していない」）。
- 連携がとれていないと考える理由では、「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」が最も高い。
- 連携に必要なと思うことは、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」が最も高い。
- 福祉・介護の充実に今後必要とされるのは「自宅で生活するための介護サービスの充実」が最も高い。

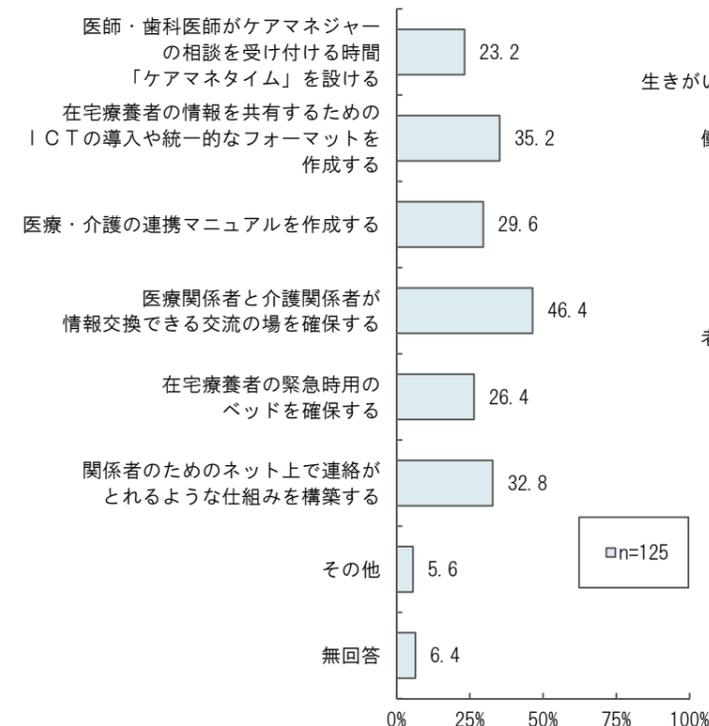
#### ■ 在宅療養者への支援において、医療・介護は連携していると思うか



#### ■ 医療との連携がとれていないと考える理由



#### ■ 医療・介護の連携をとるために必要だと思うこと



#### ■ 福祉・介護を充実させていくために、今後必要と思われること

